柏市立柏高等学校

進路室通信

2

令和2年
5月8日（金）
発 行
進路指導部

今回の臨時休業はあなたに『自分と向き合う時間』を与えることになりました。あなたは、10年後、20年後、何をして、どんな生活をしている人でいたいのか。もう一度考えてみましょう。

生徒のみなさんは、**校長通信創刊号**にある中村校長先生のこの働きかけを実行してくれたと思います。さらに、「自分が社会人となったときの自己実現」、自分は何をしていることが幸せなのだろうと、具体的にイメージしていきましょう。それを考える上で、いくつか情報をお届けします。

一生の幸せにつながる進路選択を

初級試験と聞くと、問題が易しいとイメージしてしまいませんか。

公務員試験はそうではありません。初級公務員試験は、ほとんどの自治体で18～21歳を受験可能年齢に設定しています。受験区分なのです。とりあえず大学に入って…と進学してしまうと、卒業したときには初級はもう受験できないのです。大卒が受験できる公務員試験、こちらは合格するのが極めて難しい現状です。初級試験は大いに考えるべきもので、地方公務員志望ならば大学進学をしない、という選択肢も考えるといいと思います。

保護者の方も本人が選択する際、様々な視点を与えてあげてください。親世代がいいと信じていたことが、今の時代はそうではなくなったことが結構あります。当時もてはやされた職種が、今、そして将来、そのまま繁栄しているとは限らないことを意識しておきたいものです。どのような職業に就くのか、それは将来の幸せにかなり関係してくることだと思います。自分は何に生きがいや幸せを感じるのか、その視点で進路選択を考えることが大切です。

1年生の皆さんは、入学式を終えてすぐ休校に入ってしまいました。これから実質の高校生活をスタートさせるわけですが、卒業後のイメージも描いて新しく市柏での毎日を充実させていってください。

高校生の頃にしてほしかったキャリア教育って何？

～ 卒業後に振り返って思うキャリア教育の意義 ～

すぐ役立つ ！？

文部科学省　国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センターが『高校生の頃にしてほしかったキャリア教育って何？』～卒業後に振り返って思うキャリア教育の意義 ～というリーフレットを出しています。

学校で学ぶことがすぐに役立つこともありますし、卒業後に振り返って役立つことも多々あります。このリーフレットは教員向けに出された内容ですが、生徒の皆さんにも保護者の方々にも役立ちそうですので紹介します。引用先のアドレスは、次の通りです。

https://www.nier.go.jp/shido/centerhp/syoukyari/Carrier_series2017_A4_0331.pdf#search="%E29%AB%98%E6%A0%A1%E9%80%B2%E8%B7%AF%E6%8C%87%E5%B0%8E%E5%AE%9F%E8%B7%B5%E4%BE%8B"

A　すぐに「役立つ」と感じられる学習内容

☞自分の個性や適性（向き・不向き）を考える学習
☞進学にかかる費用や奨学金についての情報
☞社会全体のグローバル化（国際化）の動向についての学習　など

B　時間がたってから「役立つ」と感じられる学習内容

☞ 社会人・職業人としての常識やマナーについての学習

C　高校生のときに「取り組んでおきたかった」学習内容

☞就職後の離職・失業など，将来起こり得る人生上の諸リスクへの対応についての学習
☞転職希望者や再就職希望者などへの就職支援の仕組みについての学習など

3年生にとって、進路はかなり現実味を帯びていると思います。中学3年生のときと高校3年生では、その重みもだいぶ違います。既に高校を卒業した先輩たちの声も参考に、これからの学びに臨んでください。詳しい内容を知りたい方はネットで閲覧できますし、進路室へ足を運んでもらえれば、白黒!?ですがコピーを差し上げます。意識した進路学習を積み重ね、幸せな人生を歩んでください。

前回の進路室通信は保護者の方に読んでいただけたでしょうか。この通信は生徒だけではなく、**保護者の方々にも読んでいただく方針で編集**しています。必ず渡してください。よろしくお願いします。